



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 日本トムソン株式会社
 コード番号 6480 URL <https://www.ikont.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 宮地 茂樹
 (氏名) 牛越 今朝明
 TEL 03-3448-5824

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,615	△19.9	△186	—	△182	—	4	△99.1
2020年3月期第1四半期	13,256	△12.6	809	△39.6	653	△57.7	486	△58.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 420百万円 (383.7%) 2020年3月期第1四半期 86百万円 (△86.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.06	0.06
2020年3月期第1四半期	6.79	6.77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	102,828	57,538	55.8	797.51
2020年3月期	98,118	57,439	58.4	796.63

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 57,390百万円 2020年3月期 57,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.50	—	5.00	12.50
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	4.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,200	△20.6	△400	—	△380	—	△180	—	△2.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	73,501,425 株	2020年3月期	73,501,425 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	1,539,937 株	2020年3月期	1,584,793 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	71,946,323 株	2020年3月期1Q	71,691,946 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)期末自己株式数には、従業員持株ESOP信託の保有する当社株式を含めております(2021年3月期1Q 76,500株、2020年3月期 121,700株)。また、期中平均株式数(四半期累計)の計算においては、従業員持株ESOP信託の保有する当社株式を控除する自己株式を含めております(2021年3月期1Q 91,800株、2020年3月期1Q 337,466株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済情勢は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済・社会活動の制限等の影響を受け、極めて厳しい状況となりました。中国をはじめとする一部地域では、経済活動の再開により持ち直しの動きがみられたものの、その他地域での感染拡大や収束時期の見えない中での経済活動再開に対する懸念など、先行き不透明な状況が続きました。

このような情勢のもとで、当社グループではお客様、取引先および従業員の安全を第一に考え、またさらなる感染拡大防止の対策を実施した上で、製品供給体制を維持するとともに、引き続き「I K O中期経営計画2020 (CHANGE & CHALLENGE ~Next Stage -ACCOMPLISH-)」に掲げる持続的な成長と収益基盤を強化するための諸施策に取り組み、組織横断による重点課題の解決や各種業務の効率化を推進しました。

販売面につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動に大きく制限がかかる中、Web会議やコミュニケーションツール等を活用した柔軟な営業活動を積極的に展開いたしました。また、新規システムを活用した顧客管理体制の強化や、今後の需要拡大が見込まれる戦略製品の案件発掘にも努めました。

製品開発面につきましては、高い位置決め精度を持つ『高精密位置決めテーブルTX』に、高分解能・高速移動が求められるアプリケーションに最適なアブソリュート型リニアエンコーダ仕様を追加するなど、お客様ニーズに即した高付加価値製品の充実を図りました。

生産面につきましては、サプライチェーン全体での価格競争力の強化を図るべく、生産現場における新規システムを活用した業務の見える化や現場改善活動を推し進め、より効果的な生産体制の構築に注力しました。また、生産子会社の優必勝(蘇州)軸承有限公司では、「I K Oブランド」製品の安定供給体制の整備を進めるなど、生産性の向上にも取り組みました。

当社グループの営業状況をみますと、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による景気悪化に伴い、国内外とも設備投資需要は弱含み、全ての地域において減収となりました。国内市場においては、エレクトロニクス関連機器向けは好調に推移したものの、工作機械向けや市販向けの需要が低迷しました。北米地域では、エレクトロニクス関連機器向けは好調である一方で、市販向けなどを中心に低調に推移しました。欧州地域では、精密機械向けの需要が増加しましたが、一般産業機械向けや市販向けなどの需要が減速しました。中国では、いち早く経済活動を再開したものの、米国との貿易摩擦の影響も依然として残り、需要は伸び悩みました。その他地域では、インドのロックダウンをはじめ、各国における制限措置により経済活動は停滞し、総じて厳しい状況となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,615百万円(前年同期比19.9%減)となりました。収益面につきましては、営業活動の制限もあり経費節減に努めましたが、減収・減産の影響等により、営業損失186百万円(前年同期は営業利益809百万円)、経常損失182百万円(前年同期は経常利益653百万円)となりました。また、税金費用の減少等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は4百万円(前年同期比99.1%減)となりました。

また、当第1四半期連結累計期間における針状ころ軸受および直動案内機器等(以下「軸受等」)の生産高(平均販売価格による)は9,977百万円(前年同期比22.7%減)となり、軸受等ならびに諸機械部品の受注高は9,286百万円(前年同期比14.8%減)となりました。

セグメントについて、当社グループは、軸受等ならびに諸機械部品の製造販売を主な単一の事業として運営しているため、事業の種類別セグメントおよび事業部門は一括して記載しております。なお、部門別売上高では、軸受等は9,428百万円(前年同期比20.3%減)、諸機械部品は1,186百万円(前年同期比16.8%減)となりました。

部門別売上高

(単位：百万円)

区 分	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		比 較 増 減	
	金額	比率	金額	比率	金額	伸び率
軸受等	11,830	89.2	9,428	88.8	△2,401	△20.3
諸機械部品	1,425	10.8	1,186	11.2	△239	△16.8
売上高合計	13,256	100.0	10,615	100.0	△2,641	△19.9

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,709百万円増加し102,828百万円となりました。これは主に、現金及び預金4,054百万円、投資有価証券691百万円の増加等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,610百万円増加し45,289百万円となりました。これは主に、未払費用530百万円、長期借入金3,784百万円の増加等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ98百万円増加し57,538百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金497百万円等の増加と、利益剰余金355百万円、為替換算調整勘定103百万円等の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループの事業活動に与える影響を合理的に算定することが困難であることから、未定としておりましたが、足元の需要動向など現時点で入手可能な情報に基づき第2四半期累計期間の業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

なお、通期の連結業績予想および期末の配当予想につきましては、引き続き未定とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,924	16,979
受取手形及び売掛金	11,671	11,715
商品及び製品	16,196	16,312
仕掛品	11,122	11,067
原材料及び貯蔵品	6,414	6,551
その他	2,624	2,056
貸倒引当金	△14	△15
流動資産合計	60,940	64,668
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	11,500	11,554
その他(純額)	13,242	13,500
有形固定資産合計	24,742	25,055
無形固定資産		
	2,107	2,001
投資その他の資産		
投資有価証券	6,708	7,400
その他	3,675	3,757
貸倒引当金	△56	△55
投資その他の資産合計	10,328	11,101
固定資産合計	37,178	38,159
資産合計	98,118	102,828
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,832	7,624
短期借入金	1,200	1,200
1年内償還予定の社債	-	5,000
1年内返済予定の長期借入金	4,130	5,144
未払法人税等	225	157
役員賞与引当金	63	15
債務保証損失引当金	170	170
その他	4,132	4,935
流動負債合計	17,754	24,248
固定負債		
社債	15,000	10,000
長期借入金	6,876	9,646
退職給付に係る負債	33	23
その他	1,014	1,371
固定負債合計	22,924	21,041
負債合計	40,679	45,289

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,533	9,533
資本剰余金	12,886	12,886
利益剰余金	34,988	34,632
自己株式	△828	△789
株主資本合計	56,579	56,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,365	1,862
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△494	△597
退職給付に係る調整累計額	△160	△137
その他の包括利益累計額合計	711	1,127
新株予約権	148	148
純資産合計	57,439	57,538
負債純資産合計	98,118	102,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	13,256	10,615
売上原価	8,983	7,730
売上総利益	4,273	2,884
販売費及び一般管理費	3,463	3,071
営業利益又は営業損失(△)	809	△186
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	113	80
受取保険金	62	6
その他	90	57
営業外収益合計	268	147
営業外費用		
支払利息	21	29
売上割引	15	11
為替差損	376	65
その他	10	35
営業外費用合計	424	143
経常利益又は経常損失(△)	653	△182
特別利益		
投資有価証券売却益	-	4
特別利益合計	-	4
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	653	△178
法人税等	161	△182
四半期純利益	491	4
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	486	4

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	491	4
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△203	497
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	△197	△103
退職給付に係る調整額	△5	22
その他の包括利益合計	△405	415
四半期包括利益	86	420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81	420
非支配株主に係る四半期包括利益	5	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。